

2024 年度 ニチキッズ長曽根保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 4 月 1 日（木）～2025 年 2 月 28 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024 年 3 月 3 日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもの興味・関心を探り、保育士が子どもの目線や気持ちになって思いっきり遊びぶことを大切にした。子ども達が安心してありのままの姿を発揮できる居場所を作り、自身で気づき生き生きと活動できるよう丁寧に関わってきた。
子どもの発達援助	異年齢の関わりから、労りの気持ちが育つような言葉掛けや刺激となる遊びの工夫をし心と体の成長を大切にしてきた。年齢に応じた集団遊び、指先遊び、食育活動を取り入れたり、手作り玩具を作り子どもの発達を考え保育できた。
保護者に対する支援	職員間での引継ぎ、ミーティングを密に行い、保護者の方に子どもたちの健康面、日々の遊びの様子が伝わるよう共通理解に努めた。連絡帳、HP、送迎時のコミュニケーション、行事を通して子どもの成長と一緒に喜ぶ事ができた。
保育を支える組織的基盤	外部、内部研修を受け、会議で共有し自園として運用し保育の質の向上に努めた。個別の発達相談、援助については関連機関の指導や巡回を受け子どものより良い発達に繋げた。また子育てひろばや座談会を通して地域の方との交流を深めてきた。

総評
子どもの発達や実態を職員間で話し合い一人一人の個性を把握、理解し集団の中で育つ力を大切にしてきた。年齢別保育、異年齢混合保育など様々な遊びや活動を計画実行してきた。日々の保育計画を振り返り、評価反省を行い、子どものより良い育ちに繋げてきた。安全面を考えた遊びの環境や保育士の立ち位置の確認、衛生面を徹底した保育室の掃除、玩具の消毒に努めた。これからも、職員の連携を密にし、子どもの主体性を第一にした保育、食育活動を行い、関連機関、地域の方との関わりを深め、園運営、子育て支援の充実を図っていききたい。